

概算数量発注方式の試行について

鉄道・運輸機構では、設計図書の省力化及び積算業務の簡素化により、発注時期の前倒し及び平準化を図り、円滑に事業を推進するため、一部の工事において、概算数量発注方式を試行します。

概算数量発注方式とは、工事発注内容の一部について、発注時では詳細な図面等を省略し、標準的な図面及び概数によることとし、契約締結後、速やかに詳細な図面、数量等を確定させ、契約変更（設計変更）を行う方式です。

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の一部工事において、本方式を適用し、工事の発注時期の前倒し及び平準化を図り、円滑な事業執行を行います。

本方式の採用により、入札公告時に配布する設計図書を一部省略するため、入札参加時における設計図書の確認作業等に要する入札参加者の負担を軽減できると考えております。

- ※1 本取組は、本年7月30日に公表した「鉄道・運輸機構改革プラン」の取組の一環として実施するものです。
- ※2 令和4年1月以降、当機構ホームページに公表している「発注見通し」において、概算数量発注方式の適用工事を明示します。

<本件に関するお問合せ先>

本社	総務部	広報課		電話	045-222-9101
	技術企画部	技術企画課	田中 末原	電話	045-222-9063
	技術企画部	積算課	松永	電話	045-222-9057
	新幹線部	新幹線第三課	倉川、土井	電話	045-222-9074

公告時における発注図書のイメージ

別紙 1

	図面				数量計算			備考
	高架橋 (ラーメン式・桁式)		杭基礎		コンクリート	型枠	鉄筋	
	一般図	配筋図	一般図	配筋図		足場	継手	
						支保工		
					掘削土量			
ラーメン式高架橋の例								
R1高架橋	○	○	○	○	○	○	○	
R2高架橋	○	-	○	-	△	△	△	標準的な設計図書
桁式高架橋の例								
P1橋脚	○	○	○	○	○	○	○	
P2橋脚	○	-	○	-	△	△	△	標準的な設計図書
桁の例								
Ct1	○	○			○	○	○	
Ct2	○	-			△	△	△	標準的な設計図書

【凡例】 ○ : 有り - : 無し (契約後提示) △ : あり (標準的な設計図書)

工事区分・工種・種別・細別	単位	数量	参考事項		
			名称	単位	数量
高架橋 (〇〇BL)	式	1			
高架橋工 (R1)	式	1	配筋図を含めた詳細図面を提示		
【詳細設計あり】					
下部躯体工	式	1			
鉄筋	t	40			
コンクリート	m3	1,000	コンクリート当りのSD390 D16~25鉄筋量	t /m3	0.040
			コンクリート体積	m3	1,000.0
高架橋工 (R2)	式	1	一般図のみ提示。概算数量を明示 (契約後速やかに配筋図、数量を提示)		
概算数量					
下部躯体工	式	1			
鉄筋	t	40	【準用構造物】 〇〇BL R1		
コンクリート	m3	1,000	【準用構造物】 〇〇BL R1		
			コンクリート当りのSD390 D16~25鉄筋量	t /m3	0.040
			コンクリート体積	m3	1,000.0

「準用構造物名称」
及び「概算数量」を明示